

In - Cap 工法技術研究会設立 ニュースリリース

1 研究会の概要

- ・名称 In - Cap 工法技術研究会
- ・目的 既設橋梁基礎の耐震補強工法である「In - Cap 工法」の普及、技術の向上並びに健全なる発展を図り耐久性に優れた安全で経済的な構造物の整備に寄与することを目的とする

2 経緯

平成 14 年 3 月に白石、日特建設、不動建設の 3 社でそれぞれの得意な技術を活用した新技術の研究を目的に地盤・基礎 21 研究会を発足し、初弾テーマとして既設杭基礎の耐震補強工法「In - Cap 工法」を選定しました。同年 10 月に基本特許の出願、平成 15 年 3 月に実験を経て平成 16 年 4 月に千葉県 of 橋梁修繕工事に初採用され、平成 17 年 3 月に（財）国土技術研究センターから技術審査証明を取得しました。

3 会員社名

会員は 15 社(賛助会員 2 社含む)

(株)白石、日特建設(株)、不動建設(株) In - Cap 工法の開発 3 社 並びに
(株)浅沼組、株木建設(株)、西武建設(株)、(株)銭高組、大豊建設(株)、(株)竹中土木
(株)地崎工業、日本国土開発(株)、(株)ピーエス三菱、若築建設(株)
賛助会員の 2 社は 基礎地盤コンサルタンツ(株)、復建調査設計(株)

4 総会について

- ・設立日 平成 17 年 8 月 1 日(月)
- ・開催場所 不動建設(株)東京本社
- ・決議事項

会長、副会長の選任

就任者の会社、役職名	会長	不動建設(株)	専務執行役員	高橋 通夫
	副会長	(株)白石	取締役専務執行役員	亀山 碩寛
	副会長	日特建設(株)	常務取締役	藤井 輝彦

会則の承認

17 年度事業計画

技術、積算、施工等の更なる発展・充実 / 工法の普及活動の推進

5 今後の方針

国、都道府県で橋梁の耐震補強が進められている中で、基礎の補強は多くはありませんが国土交通省の技術活用システム等を活用して実績を少しずつ増やしていきたい。

6 In - Cap 工法について

概略：固化改良を併用した既設橋脚基礎構造物の耐震補強工法であり 3 つの要素で構成されています

既設基礎のフーチング近傍を取り囲む地中壁(鋼矢板)

地中壁(鋼矢板)内部地盤の固化改良体(高圧噴射攪拌工法：セメント改良)

既設フーチングと地中壁(鋼矢板)を一体化する増しフーチング

特徴：< 経済上の優位性 > 従来 of 増し杭工法に比べて

- ・工費 30 % と工期 50 % の低減が可能

< 施工上の優位性 >

- ・狭隘かつ上空制限のある施工環境に対応した施工が可能
- ・補強対象構造物、近接構造物および周辺地盤への影響が小さい
- ・確実な施工が可能